

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：極限環境生物の世界 ILAS Seminar :The extremes of life	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Engineering Professor,ATOMI HARUYUKI		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Intensive, First semester	Quota (Freshman)	8 (5)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Intensive TBD
Classroom				Language of instruction	Japanese
Keyword	微生物 / 生態 / スクリーニング / 分離・同定				
[Overview and purpose of the course]					
近年の塩基配列決定技術の飛躍的な進展により、地球上には我々の予想をはるかに超える種類の微生物と、機能が未だ不明な遺伝子の存在が明らかとなった。本セミナーでは微生物の多様性と分類および細胞代謝の基本様式を解説する。また実際に環境中からサンプルを採取し、それらに含まれる微生物の培養を実践する。分離できた微生物に対して、同定するための解析を進める。					
[Course objectives]					
細胞代謝の基本様式および細胞が増殖するための条件を理解し、微生物を培養するための基本操作を習得する。					
[Course schedule and contents]					
微生物の多様性・分類（講義：1回）（吉田キャンパス）（7月前半） 微生物の代謝様式（講義：180 min, 2回相当）（吉田キャンパス）（7月後半） 環境サンプルの採取（実験：180 min, 2回相当）（吉田キャンパス周辺）（8月） 微生物の培養（実験：180 min, 2回相当 x 2）（桂キャンパス）（8月後半～9月） 微生物の分離（実験：180 min, 2回相当）（桂キャンパス）（8月後半～9月） 微生物の同定（実験：180 min, 2回相当）（桂キャンパス）（8月後半～9月） まとめ（演習：2回）（吉田キャンパス）（9月）					
日程については、前期中の土曜日と8月後半～9月は平日の午後を予定。 （ 詳細については履修者と調整します。 ）					
[Course requirements]					
None					
[Evaluation methods and policy]					
平常点と演習における発表					
----- Continue to ILASセミナー：極限環境生物の世界(2) -----					

ILASセミナー : 極限環境生物の世界(2)

[Textbooks]

参考資料配付予定

[Study outside of class (preparation and review)]

実験内容について各自で復習すること

[Other information (office hours, etc.)]

- ・ オフィスアワー : atomi@sbchem.kyoto-u.ac.jpまで連絡すること。
- ・ 学生教育研究災害傷害保険に加入してください。
- ・ 集中講義での実施となるため、成績報告が通常より遅れる可能性があります。